素敵な文化

千代田中学校
橋上澪

私の住んでいる河内長野には、だんじり祭りがあります。

昔は、各家庭を周り農村の厄払いや五穀豊じょうを祈るために催されてたと聞きました。

今では、だんじり祭りと聞くと「にぎやかで、はしゃいで楽しんでいるだけ、あぶない」と思う人が多いかもしれません。

しかし、だんじり祭りには素敵だなと感じることがあります。人と人とのつながりです。

普段生活をしていると、同年代、親世代の人たちと接することが大半です。しかし、お祭りに参加すると、老若男女問わず色々な人たちと関わることができます。

それは、だんじり祭りの時だけではなく関わった人たちとの関係は続くからです。

私の住んでいる場所は、校区の端で登下校では友達と過ごせる時間が短く1人の時間が長いです。

20 × 20

色々なニュースを見ているので登下校中不安と感じることがあります。でも、そんな時だんじりで知り合った人たちが登下校中に声をかけてくれます。

「いってらっしゃい、おかえりー、あついねー、気をつけてねー」と、その言葉がすごく暖かくて、色々な人達が気にかけてくれてるんだなぁと感じ、不安な気持ちがなくなります。そんな時、だんじり祭りでたくさんの人たちと知り合えたことがよかったと、とても感じます。

また、だんじり祭りでは、広範囲を歩きます。普段の行動範囲以外の場所へ行くので、子供の私にとって河内長野の色々な道を知ることが楽しく、嬉しくおもいます。

世代を超えて、人と人とがつながることのできる、河内長野のだんじり祭りは、私にとって大切で素敵な文化です。

、20 × 20